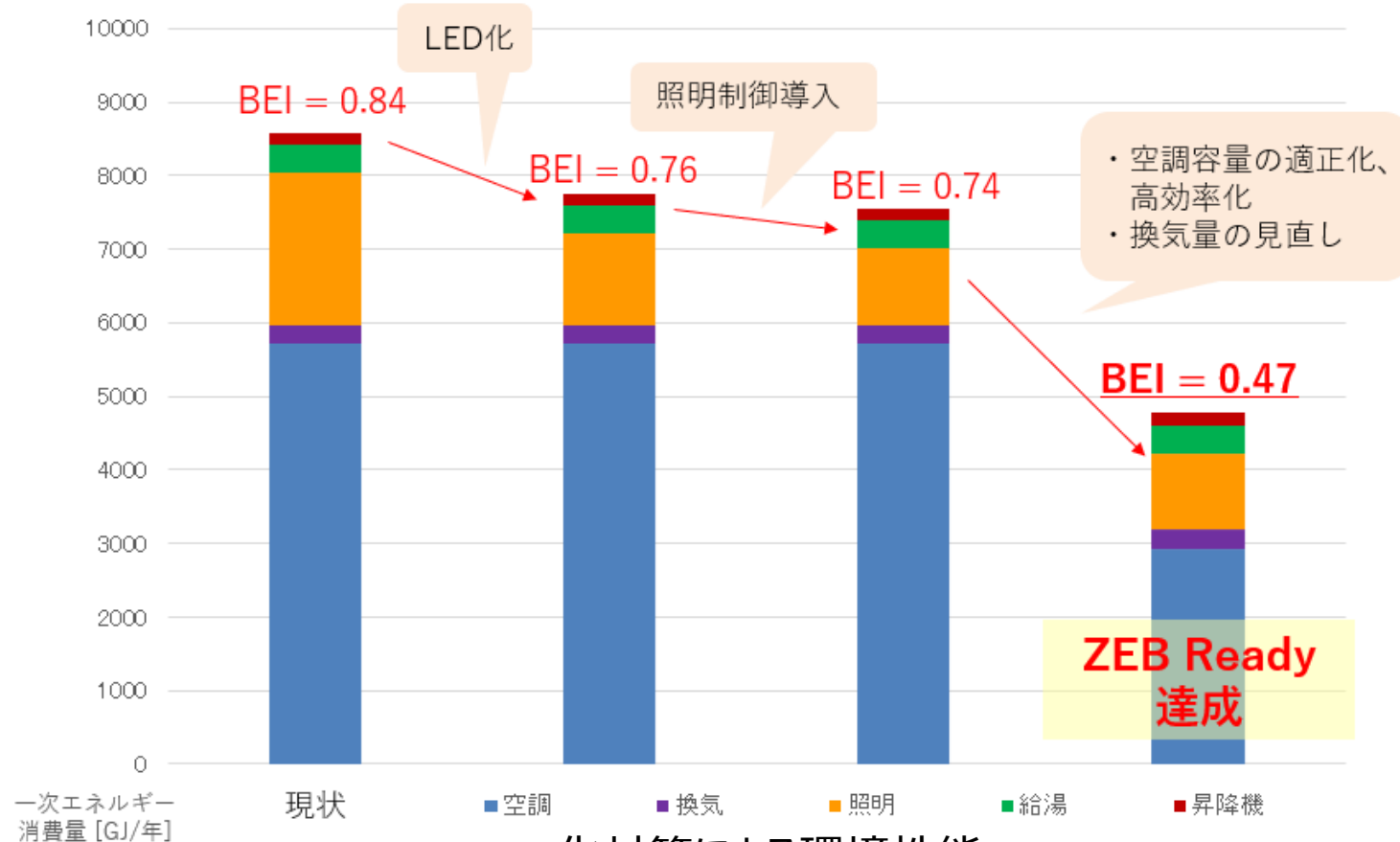


既存ビルのZEB化 ～ J R E 東五反田一丁目ビルの事例～

- 空調容量の適正化（容量の縮減）を図ったことで、当初修繕計画で見込んでいた金額より低い金額でZEB化を実現
- 空調設備改修後において特にテナント様からの不満もなく、快適性を確保していることを運用、測定で確認している

<ZEB化に向けた更新項目>



※株式会社三菱地所設計作成

<LED化>

- 全館LED化

<照明制御導入>

- 在室検知、明るさ検知
- タイムスケジュール

<空調容量の適正化>

- 空調容量をスリム化（容量の縮減）

<空調の高効率化>

- 高効率機種への導入

<換気量の見直し>

- 一人当たり換気量30m³/h（変更前：35m³/h）